

# 新指定文化財紹介



前号に引き続き、新指定文化財の詳細について紹介いたします。

**名称** 日軌上人と感応寺関係文書

**所在** 東秩父村大字御堂 浄蓮寺

**概要** 東京都豊島区雑司が谷に所在した日蓮宗鼠山感応寺に関する書簡等の古文書を一括した。感応寺は徳川家第11代将軍家斉によって開山された日蓮宗の寺院で、天保5(1835)年に建立の沙汰が下された。寺格は池上末で大坊ならびに両触頭(朗惺寺・承教寺)と同格とされた。将軍家および大奥・御三家・御三卿や各大名家が参詣し、特に大奥の女中が頻繁に訪れたと記される。

浄蓮寺に残る、感応寺関係史料は江戸城大奥の老女から、様々の機会を捉えて感応寺へ祈祷の依頼を行った書簡一括である。

この書簡等は、僅か8年で消滅した将軍家斉ゆかりの感応寺へ差し伸べられた大奥の肩入れの実態を推し量る唯一の一級資料として評価される書簡類である。両山第48世日萬上人が兼帯したが、その後日詮上人が晋山した。浄蓮寺の日蓮(後の両山63世日軌)(1806~1872)は当時、浄蓮寺から池上本門寺へ寺務担当として出仕しており、天保7年(1836)の感応寺建立から天保12年の廃寺に際して、その一切を処理した結果、本資料が浄蓮寺に伝来したとみられる。

天保6年2月 寺格取り立て時の書簡 1点

天保7年12月 本堂完成時の祈祷依頼書簡 7点

天保8年4月 西の丸完成移転時の祈祷依頼書簡 12点

天保8年12月 家斉西の丸移転時の祈祷依頼書簡 1点

天保9年7月 庫裡あらまし完成時の祈祷依頼書簡 1点

天保10年3月 西の丸完成時のご祝儀献上願 1点(写真)

天保12年2月 将軍家斉死去葬儀関係文書 2点



## 敬老会演芸の部 ボランティアを募集します

社会福祉協議会では、9月14日(日)に保健センターにて行う敬老会で、演芸の部に出演してくださるボランティアを募集します。歌、芝居、手品などなんでも結構ですので、ぜひご協力ください。

なお、村内に住所を有する方に限らせていただきます。応募多数の場合や、同じような演目が重なる場合は、出演をご遠慮いただくことがありますのでご了承ください。

●**受付期間** 8月18日(月)まで

●**申込み先** 東秩父村社会福祉協議会  
☎ 82-1238

●**注意** 後日、説明会を開催します。日程については改めて通知いたします。出演希望多数の場合は、抽選を行います。

## 金婚を迎えられた ご夫婦をお祝いします

社会福祉協議会では、敬老会において金婚を迎えられたご夫婦をお祝いします。

該当すると思われるご夫婦は、8月18日(月)までに、社会福祉協議会へご連絡をお願いします。なお、準備の都合上、8月18日を過ぎると、お祝いができませんのでご注意ください。

### 対象となる夫婦

◆現在、東秩父村に在住で、昭和39年1月1日から12月31日までの間に婚姻届を提出されたご夫婦。

◆この期間以前に結婚し、まだ当社協会で金婚のお祝いを受けていないご夫婦。なお、東秩父村に本籍のないご夫婦には、戸籍謄本を提出していただきます。

**問合せ** 東秩父村社会福祉協議会  
☎ 82-1238

